

# 第7回アンチキルケばか詰作品展

## 解説編

開 催： 平成18年 4月 1日

解答締切： 平成18年 4月25日

解答発表： 平成18年 5月 1日

たくぼんの解図日記

<http://takubon-tumeshougi.269g.net/>

アンチキルケばか詰入門

<http://www2.dokidoki.ne.jp/takuji/tumeshougi/AntiCirce.html>

初級の部

初1. 吉川慎耶 作

アンチキルケばか詰 3手 正解者9名

【命名】 自己紹介

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				飛					一 ▲
									二 な
						王	帝		三 し
									四
								飛	五
									六
									七
									八
									九

【おまけ】 命名の謎をお考え下さい

【詰手順】

31 飛生 22 玉 11 飛行成 迄 3手詰

【作者コメント】

命名「自己紹介」

こう命名すればYは「よしかわ」のYかな?と思う人が1人くらい出ると思ったので遊んでみました。実は「吉川」は「きっかわ」と読みます。ところでYはどういう意味なのか……「よろしく願います」のYということにしてお茶を濁しておきます。

【解説 (のようなもの)】

作意は飛車不成のかわいらしい小品で詰上りミニ Y の字です。

この作品の命名の謎の解明は、作者コメントを読んでもらえれば分かると思いますがさすがに正解者なしでした。惜しかったのは北村さん。なかなかの洞察力

でしたが裏を読みすぎました。詰パラの全解者欄ではいつも一番最後の方に書いてありますから絶対私も「よしかわ」と思っていました。詰パラ担当者もここまではわからないか……。そういえば毛利元就の次男は母方の里に行き「吉川」家を継いだんです。吉川さんは鳥取在住ですのでその末裔でしょうねえ。それにしても「よろしく願います」の「Y」って・(笑)

【短評】

若林「吉川さんの"Y"でしょう。」

☆普通はそう思います

北村太路「"Y"の字。命名の謎は html 版の問題図のファイルに隠されていた!!画像ファイルの名前を見ると、「kikkawa1-3」となっているわけですが、Yの字で自己紹介から考えて、吉川さんは「Yoshikawa」が正しいに違いない。しかし、たくぼんさんは「Kikkawa」と読んでいたのであろう。謎は全て解けた!PDF版だけ見ていると解けない怖ろしい謎であった。(はずれてるかもしれない。作品に触れてないがいいのか?)」

☆惜しい〜第6回までのファイル名を見ていただければ分かりますがそれまでは「yosikawa」になっています。今回から改めたというのが真相です。

橋本孝治「同じようでも玉が24に行く筋では詰まない。紛れの方にアンチキルケの味が隠れている作。「自己紹介」の意味は……詰上り「Y」?」

☆ぴりっとした味がします

隅の老人 B「ただのばか詰なら、余詰ありですね。謎解きの答 詰上がり Y で吉川さんの頭文字。」

☆金合でかなり余詰なあ

伊達 悠「吉川さんのイニシャル?」

小峰耕希「命名理由の推理は、失礼ながら興味が無いので割愛させていただきます。」

もず「ばか詰ではよくある詰め上がり。アンチキルケでは 51 に二重に利かせないと詰みません。”Y”のあぶりだしでしょうか。」

## 初2. 吉川慎耶 作

アンチキルケばか詰 5手 正解者9名

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲香
					香		玉		一
					香				二
									三
									四
						桂			五
									六
									七
									八
									九

### 【詰手順】

29 香 31 玉 43 桂生 32 玉 31 飛 迄 5 手詰

### 【作者コメント】

今となってはこの詰上がりが実現出来ました。

### 【解説 (のようなもの)】

この簡素な初形から復活防止の初手限定打 29 香が狙いの一手です。まさに入門編に最適です。それにしても 29 香 23 合 同桂成 じゃあ詰まないんですね。

### 【短評】

若林「アンチキルケさせないための限定打。お手本。」  
北村太路「限定打、不成を少ない駒で表現した爽やかな図。なるほど、の図です。」

橋本孝治「駒を取るための限定打。桂が成れない位置で作った方が紛れが出る？ (成不成の非限定が出ない

ので)」

隅の老人 B「初手が妙手、これで桂は戻れない。」

伊達 悠「最近では最遠打は珍しくありませんね。」

小峰耕希「これと同じ筋で作った事があるのですぐ解けました。(詳しくは第3回作品展の橋作に対する僕の感想を参照下さい)。本局も手数制限を考えなければ桂を打つ所から出来た筈です。」

☆42 歩→42 飛で 23 玉、持駒桂香の 7 手という手もあったか

もず「遠打にはもう驚かないのですが、この詰め上がりは少し新鮮に感じました。」

## 初3. 若林 作

アンチキルケばか詰 7手 正解者9名

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲歩二
					歩		玉	香	一
					金	香	香	香	二
							金		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

### 【詰手順】

32 金 同銀/31 銀 23 歩 同桂/21 桂

23 歩 同成香/11 成香 23 金 迄 7 手詰

### 【作者コメント】

ここまで一本道だとアレかなあ。考えるところはありません。

### 【解説 (のようなもの)】

手なりに行けば詰むが 1 つずつ復活して実践型に戻

って行く様は、ビデオの巻き戻しをしているようです。ただ12成香はさすがに苦しいところです。

【短評】

若林「流石に絶連過ぎたか。主張のある手順でもないし。」

北村太路「進んでいくうちにどんどん実戦形になっていく。成香はそうするしかないし、しょうがないですよ。」

☆いやいやや橋本案をご覧ください

橋本孝治「やはり12香は12香にしたいところ。例えばこんな風に。」

				金		料		持駒 歩
			歩		王	皇		
				銀	銀			
	●				金	歩		
	●							

☆これはいいですね。しまった第8回にもらうんだった・・・か。

隅の老人B「アンチキルケらしい手が続くが、12成香は苦しい配置。」

吉川慎耶「初手は絶対手。必要かどうかは？」

☆入れたいところだと思います

伊達 悠「拙作（打ち歩ですが）からヒントを得たものですか？」

☆そんな感じもしますね

小峰耕希「手数制限（5手）破りの第1号局でしょう

か？でもこの内容では初級以外には出せそうもないですね。」

もず「銀桂香で退路封鎖。簡単ですけど順番に捨てていく味がいいですね。」

初3. たくぼん 作

アンチキルケばか詰 29手 正解者9名

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	王	王	王		王	王	王	飛	▲なし
				歩			銀		一
	皇	皇	料	料	料	皇	皇		二
							王	料	三
料	料	料	料	料	料	料	料	料	四
									五
									六
									七
									八
									九

【詰手順】

- 13 銀生 34 玉 24 銀成 44 玉 34 成銀 54 玉
- 44 成銀 64 玉 54 成銀 74 玉 64 成銀 84 玉
- 74 成銀 93 玉 84 成銀 82 玉 93 成銀 72 玉
- 82 成銀 62 玉 72 成銀 52 玉/51 玉
- 62 成銀 42 玉 52 成銀 32 玉 42 成銀 22 玉
- 13 飛成 迄 29手詰

【解説（のようなもの）】

解説は要らないでしょう。まさにくるくる級作品です。初級の部にしては長すぎるんですが、是非新しい方に解いていただきたい・・・。

【短評】

若林「これはシンプルで良いですね。まさしくくるくる。」

北村太路「解いた時にまず「タイムショック」(TV番

作品展・短編の部

短1. 吉川慎耶 作

アンチキルケばか詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				馬			銀		▲なし
						飛			一
							王	金	二
					銀				三
						歩	金		四
									五
									六
									七
									八
									九

【詰手順】

14 金 同歩/13歩 33 飛生 24 玉

34 飛成 迄 5手詰

【投稿時の作者コメント】

4 4角を銀に変えるとアンチキルケらしい余詰があります。

【評価】

自力正解者…8名

A…2、B…4、C…0 平均点…2.33(4位)

お気に入り投票 : 2

【解説 (のようなもの)】

金の原型消去から飛車生、そして最後両王手と5手詰としてみれば無駄手の無い完璧な構成の作品です。初形から1五金が邪魔とはなかなか気付きませんが1五金がいなければ3三飛生に2四玉と逃げられ両王手に持っていくことができるというわけです。

氏は構想物も手がけますがこういった簡素な短編も得

組)をなぜか思い出しました。くるくるは長いので、初級じゃなくてアンデパンダンでいいのでは?アンデパンダンは最近打歩コーナーになってますね。」

☆アンデパンダンに置いておくと初めから手をつけない人がいそうなので…

橋本孝治「銀と玉が仲良くくるくる。22手目で玉がちょっとスリップしたものの、転倒は免れました。」

☆笑っちゃいました。たしかにスリップしてますね。非限定回避のスリップでした。

隅の老人 B「もう少しで1回転。残念、まあ良いか。」

☆本当にあとちょっとで1回転でしたが1回転にしようとするシンプルに収まらなくて

吉川慎耶「これが解けたら初級は卒業?」

伊達 悠「いうことなしの一周。次は盤面全体を使って。」

☆創ってね

小峰耕希「52歩のお陰で唯一解になっている。」

もず「ぐるっと一周。にはちょっとだけ足りませんが十分ですね。」

.....

今回は捻破りの長手数作品の出題で、長くても簡単に解けるものもありますよ~というメッセージでしたが、新しい方からの解答も無く残念でした。

【全題正解者】

若林、北村太路、橋本孝治、隅の老人 B、吉川慎耶、伊達 悠、小峰耕希、もず、橋圭吾 以上9名

意のようで、ますますこの先が楽しみになってきました。

作者のコメントにあるように盤面の 44 角→44 銀に変えると、33 飛 同銀/31 銀 24 金 32 玉 33 金までの余詰。44 角を取り除くと、33 飛生 22 玉 23 飛生 32 玉 33 飛成 までの 余詰などができますが、どの手順も作意にしたいくらいですね。

【短評】

若林「24 金から 3 手詰かと一瞬考えてしまった。捨て駒の序と閉ざして開く手触りが良いです。B」

北村太路「馬が 4 二に原型のまま動けたら、2 四金一手詰だなあ、とか考えて泥沼に。作意は、居食い&一度不成で動いてから成る、というなかなかの手順でしたが、すいません。勝手に読んだ筋の方が個人的に印象に残ってしまいました。(ちなみに絶対作りません。と釘を刺しておこう) A」

☆24 馬～42 馬で一局出来そうですね。早い者勝ちだ～・・・

橋本孝治「お得意(?)の金の原形消去。最終手はヒモなしの両王手にしたいですが、難しいでしょうか。B」

☆42 角型で出来そうな気がしますね

隅の老人 B「初手に続いて 3 手目も好手、これで意外と難しい。B」

伊達 悠「PDF 版を印刷して最初に解いたときは驚きました。いやはやよかった。B」

小峰耕希「う～ん、1 回は解けたのですが、その手順が思い出せない…。よって無解(但しコメント掲載希望)。」

☆ メモしておいて下さいね

もず「初手に飛を動かすところから読み始めて、しば

らくして金捨てに気付きました。第 4 回の短 1 よりも洗練されていて良いですね。51 が埋まっているところが意見が分かれるかもしれませんが、馬を動かしたくなりますし紛れが増えていると思います。」

短2. 吉川慎耶 作

アンチキルケばか詰 7 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲ 飛
			飛		飛				二
				香			香		三
			香		香				四
									五
								玉	六
					馬	皇			七
							王		八
					飛		角		九

【詰手順】

98 飛 19 玉 47 角/88 角 28 玉

39 角 同香成/11 成香 55 角 迄 7 手詰

【評価】

自力正解者・・・8 名

A・・・5、B・・・1、C・・・0 平均点・・・2.83(1 位)

お気に入り投票 : 2

【解説 (のようなもの)】

最近特に成長著しい吉川さんがまたまたヒットを飛ばしました。余詰でかなり苦しめられましたが意外とすっきりまとまって良かったです。狙いは初手の飛車の最遠打からの最終両王手ですが 5-1 を抑えない両王手は意外と今まで創られていませんね。橋本さんの評にありますが、最終両王手をする飛角を手順の中で配置していくというのが実に素晴らしい構想です。16

王配置で香の成生を限定させているのもちょっといい感じですね。

【短評】

若林「最遠打からの両王手。非常に綺麗にまとまっています。入玉形での両王手って初かも。A」

☆見たことない気がします

北村太路「当初は縦に使うおとしましたが、2三歩もあり断念。横に使うなら、9八だろ！ということで角復活が浮かんできました。右下の駒の配置は効率的でいいですね。5一防御は仕方ないところかと。A」

橋本孝治「チェスプロブレムでバッテリー（空き王手のできる形）を作ることをテーマにした作品がありますが、本作は正にそんな感じ。短4と同様、遠打と復活を利用して影も形もないところにバッテリーを作る構成に作者の意欲を感じます。A」

☆私もチェスプロブレムを勉強しようかな？初めてのチェス1手・2手「詰集は持っているんですが…

隅の老人B「慣れとは恐ろしい。98飛の最遠打も簡単に発見。B」

吉川慎耶「たくぼんさんが自作に対して何も（苦言、褒め言葉、改良案等）言わなかったのでまさか…とは思いましたがやっぱりかぶってましたね。きつともずさん作が先に投稿されていたでしょう（ごめんなさい）。改めて見ると駒取りが露骨だし、上部の駒がひどいですね。」

☆いやいや貴方が先でした。3月は忙しかったので感想を言ってないというのが事実でした。ごめんなさい。しかし共に好評ですので大丈夫です。

伊達 悠「うまい！本当にそれしか言いようがありません。A」

もず「遠打の意味付けがシンクロですね。飛を持たせると余詰みやすそうだったのでこの構図はあまり考えませんでした。さすがにすぐ解けましたが香成の限定がうまいと思いました。A」

短3. 北村太路 作

アンチキルケばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					馬				一 ▲
									二
			桂						三
	銀		角						四
									五
王									六
				継					七
									八
	香						歩		九

【詰手順】

71 桂成 41 飛生/82 飛 97 歩 同玉/51 玉  
42 角成 62 玉 73 銀成 迄 7手詰

【投稿時の作者コメント】

2九歩があつては少しみつももないかもしれません。

【評価】

自力正解者…8名

A…1、B…4、C…3 平均点…1.75(5位)

お気に入り投票 : 1

【解説 (のようなもの)】

作者自身が失敗作というだけに、狙いが分かりにくかったようです。初手5一桂成と行くと同飛生/82 飛で打歩詰となるので7一に桂が成り5一へ玉が戻れるようにしておくのがポイントです。ただ2九歩配置はさすがに気になりました。無ければ97歩 同飛/82 飛

51 桂成 52 飛打 同成桂/29 成桂 85 歩 97 飛迄 などで余詰みまがこの歩を置かずにと言うわけにはいかなかったようですね。ちなみに私は 85 銀合～同香/99 香～78 銀～97 角の筋が第1感でしたが全然違いました (エへ)。

【短評】

若林「手なりで詰んでしまったけれど……？ 最初は 51 桂成 52 合 同圭/29(89)圭の紛れがあったのでしょうか……っと、85 合 同香/99 香があるのか。C」  
北村太路「正直に白状すると、初手打歩詰状態を作るつもりで、余詰消しのために飛車を効率のいい場所に置いたら、いつの間にか初手打歩詰の状態でなくなっていたのに気づかずに投稿してしまいました。。つまりは失敗作であります。好意的評をくださった方がいたら申し訳ありません。C」

☆皆さん北村さんらしくないと思ったかもしれませんがこういう訳です

橋本孝治「邪魔にならない場所に動いて打歩を予防する構想は良いですが、29 歩配置や5 手収束が残念。B」  
隅の老人 B「不成で戻るのが、チョットした伏線で妙手でした。B」

☆最終手に絡む不成はちょっといい味

吉川慎耶「飛の成生非限定を解消するには、と考えるとば玉を跳ばす手順が見える。B」

伊達 悠「これは……すぐに解けてしまいましたが……。C」

小峰耕希「このルールでの打歩問題は珍しい…と書きかけましたが、第2回作品展の頃に、太郎さん・もずさんが双玉打歩問題作ってましたね。むしろ成・不成限定手4/7の方が価値があるかも？ A」

短4. もず 作

アンチキルケばか詰 9 手



【詰手順】

19 角 46 銀 55 角 64 桂  
同飛/28 飛 55 銀/71 銀 94 桂 同と/93 と  
88 飛 迄 9 手詰

【投稿時の作者コメント】

少し前に作ってあったものの余詰防ぎがひどいのでボツにしていた図です。短編が少ないということで出すことにしました。「適当に都合の良い手順を設定してから余詰がなくなるまで駒を追加」という方式では 9 手になると厳しくなりますね。

【評価】

自力正解者…6名  
A…5、B…1、C…0 平均点…2.83(1位)  
お気に入り投票 : 3

【解説 (のよなもの)】

多分短編では、過去最高のアンチキルケばか詰ではないだろうか？ 2番と同様、大駒の最遠打～両王手の舞台づくり～の両王手という流れですが、銀の中合、桂合、その桂を飛で取って角筋を一旦遮断し、中合し



た銀で先手の角を取り7一銀と復活させて自玉の逃げ道を塞ぎ、取った桂で8四のと金を93に移動させて（これも逃げ道防ぎも兼ねています）準備完了。最後は見事な両王手で締めくくる。ため息の出るような構成です。

作者は余詰防止駒が多すぎてボツにしていた図と言っていますが、これがボツなら一体・・・

とにかく解答者絶賛！TOPIXの受賞間違いなしの傑作と断言します。（受賞しなかったらごめんなさい）

【短評】

若林「最難問。見るからに詰まなそう。ということで両王手を目指す発想に長考。その実現を目の当たりにして脱帽。合駒を中心とした手順全てが凄い。緩みなし。A+」

☆この攻防は人間業とは思えません(人間じゃないか)北村太路「来た！恐怖のバッティング！短2が解けないともう少し見破るのに時間がかかったかもしれません。しかし、最初は3七に合駒をしてしまいました。5筋復活位置選択、9三を塞ぐための2つ目の限定合などまさに神業。で守りは、歩&とで統一できましたか。素晴らしい。A」

☆バッティング回避はしていないのでその辺はご容赦を

橋本孝治「短2と同様にバッテリーを組む構想ですが、遠打を二重に行うこと、退路を2つも移動で埋めることなど、非常に高度な表現が使われていると思います。今回の作品展最大の収穫。A」

隅の老人 B「一見、これが詰むの？。これが苦勞の始まりで、合駒選びで難儀する。それだけに解けた時の嬉しさは、格別。B」

☆う～むこれでもまだ B 評価ですか・・・

吉川慎耶「これはすぐに見えた（当たり前か）。でも流石はもずさん、僕の作品とはまるで完成度が違いますね。序の付け方が特に参考になります。A」

伊達 悠「これもいうことなし。残念ながら白旗ですが、TOPIX の候補作に間違いのないでしょう。（スーパー）A」

☆私も一票です

もず「一直線上に重ねて打つ手筋はば自系ではよくありますがばか系ではあまりないように思います。5手目に駒取りがあるために、その駒を消費する2手が必要となりその分余詰が生じやすくなってしまいました。」

短5. 北村太路 作

アンチキルケばか詰 11手

				金	飛		銀			
飛										
香										
	桂	金			銀					
		香	歩							
	歩	歩		歩		歩				
		王		王						
歩		香	金							
銀	玉		王		王					

【詰手順】

55角 同銀/71銀 22角 33香  
31角生/88角 87玉 33角成/88馬 96玉  
85銀 同金 97香 迄 11手詰

【投稿時の作者コメント】

今回は難解を目指してみたつもりなんですけど、すごく余詰を防ぐ駒が多くなって酷評されそうです。

【評価】

自力正解者・・・6名

A・・・3、B・・・2、C・・・1 平均点・・・2.43(3位)

お気に入り投票 : 0

【解説 (のようなもの)】

作者が解答者に挑んだ作品です。解かれれば負け。

私は2時間位考えたでしょうか？

4四銀はいかにも邪魔そうなので2手目までは感じて指せますが問題は3手目。普通に考えれば1一角から飛車を取る手から考えるでしょう。また2手目までの流れからいけば44角から71角成/88馬も魅力的ですし、51飛も取ってみたいところです。そして作意は直接取りに行くのではなく合駒させた33香を2段モーション(角生～角成)で取りに行く手順でした。これは解り難い。本当に欲しい駒は香だったんですね。また取った銀を85に捨てる展開も普通詰将棋みたいでいいアクセントになっていると思います。私から言わせれば、”やられた～”という作品です。さて作者 VS 解答者の結果はいかに～～

【短評】

若林「これも難しかった。初手の感触と、31銀が質駒であるというトリックはお見事。銀の用途も良い。配置は流石に派手すぎかも。A」

☆若林さんが難しかったと言っているので北村さんに1票！

北村太路「この問題は評価よりも、どうだ解けまい、という気合を込めました。いつも簡単に解かれちゃうので。なので、好評でもすぐに解けた場合は、私の敗北。不評でもFMでも使おうものなら私の勝利です。ふっふっふ。でも、いくらなんでも図が酷すぎるよなあ。

無理やりな余詰の防ぎ方だなあ。いやいや今回は解かれなかったらそれでいいのだ。(最初のPDF版は本当に解けないけど) C」

橋本孝治「紛れがめちゃめちゃに多い作。71銀を狙うのか、51飛を狙うのか…。92飛や93香を入手する筋まで存在し、本筋を見極めるのがかなり困難です。61金の存在が85銀を暗示していますが、これがなければ作意の発見は更に難しかったでしょう。A」

☆橋本さんも苦戦したようなので北村さんに1票  
隅の老人 B「ソッポに行っても、王手とは！。流石に7手目は容易に発見。B」

☆隅の老人 Bさんには通じなかったようで解答者に1票

吉川慎耶「すべてを理解した上での33香合。A」

☆短評からは苦勞していないようなので解答者に1票  
伊達 悠「思ったよりは簡単でしたね。頭の2手は不要な気がしますが。B」

☆ひえ～北村さん完敗

もず「結局解けなくてfmに教えてもらいました。どの駒を入手するのいろいろ検討したのですが、香と銀を入手するのは考えませんでした。度は生で、もう一度は成る対比も面白いです。」

☆この勝負は北村さんの勝ち

.....

【総評】

若林「お気に入り:短4。もず氏の充実ぶりが凄いです。」

北村太路「お気に入り:最優秀は短4なのですが、お気に入りなので短2で。2手目1九玉ともぐるのもなかなか気に入った手でしたので。」





【詰手順】

37歩 27玉 28歩 26玉 27歩 35玉  
36歩 34玉 35歩 33玉 34歩 23玉  
33歩成 12玉 23と 21玉 12と 32玉  
22と 41玉 32と 51玉 41と 62玉  
63歩 61玉 62歩成 迄 27手詰

【評価】

自力正解者…8名

A…2、B…4、C…1 平均点…2.14(1位)

お気に入り投票 : 3

【解説 (のようなもの)】

自作に歩だけの作品の本作があり、若林さんの作品に併せて出題しました。ポイントは1つだけ2七歩の状態のまま追わないと22歩が取れないということです。

【短評】

若林「なるほど、27歩にしておくで22歩が取れるんですね。新機軸。A」

☆作者の言いたいことを感想で言ってくれるのは最高です

北村太路「歩が取れるように、2筋の歩をついておくのが肝要。2二歩もすぐとるより、ちょっと遅らせて取った方が手数がかかりませんでした。A」

☆これもうれしい。

橋本孝治「2枚歩追いは非限定との戦い。アンチキルケの性質をそこに絡めたのが、良いアイデアですね。B」

☆この図からかなり逆算に挑みましたがダメでした。  
隅の老人 B「単純に追いかけて後戻り。27歩の伏線がありました。B」

吉川慎耶 「単騎詰は正直面白くない。C」

☆狙いは違うんだけどなあ～

伊達 悠「三筋と二筋、歩を七段目においておくのはどっち？B」

☆どっちの料理ショーの見すぎ？

もず「歩を並べて進めるのは限定しにくいよなあと思ったら、なるほど歩は1枚は残すわけですね。B」

.....

今回の2作は解答者からしてみれば物足りない作品だったようです。お気に入りなしが2票も入ってますし・・・。

【総評】

若林「お気に入り：中2。今回は決まりでしょう。」

北村太路「お気に入り：お気に入り・・・とまではいかないなあ。どちらかと言えば中2の2筋の歩がちょっと味がありますが。今回はお気に入りなしで。」

橋本孝治「中編の部のお気に入りは「中2. たくぼん作」です。易しい作ばかりなのは、難しい作を JEWEL BOX に取られた影響・・・」

☆アンチキルケばか詰の中編は私の馬鋸しかなかったような・・・。

隅の老人 B「お気に入りは、中1。理由＝両局共にお気に入りですが、敢えて中1。たくぼんさんには申し訳なし。」

吉川慎耶「中編のお気に入りはナシで・・・。」

伊達 悠「お気に入り；これを選ぶほうが、今回の中で一番難しい気もするのですが (爆)・・・

・・・2番。・・・という若林さんに恨まれそう (爆)。」

☆なかなか・・・(苦笑)

小峰耕希「お気に入り投票...こちら唯一解けた①若

林作に投票します。」

もず「中編は 2 番です。申し訳ありませんが消去法です。」

【解答成績】

解答者名	1	2
若林	○	○
北村太路	○	○
橋本孝治	○	○
隅の老人 B	○	○
吉川慎耶	○	○
伊達 悠	○	○
小峰耕希	○	
もず	○	○
橋 圭吾	○	○

△ は FM 使用解答

解答者数 9 名 うち全題自力正解者 8 名

全題自力正解者は 8 名でした。今回の 2 作はそんなに難解でなかったので楽しめたのではないのでしょうか。

【お気に入り投票・結果】

今回のお気に入り投票は投票総数・・・6

お気に入りなし・・・2 (泣)

順位表

順位	No.	作者名	投票	無	A	B	C	平均点
1	1	たくぼん	4	0	2	4	1	2.14
2	2	若林	2	0	1	4	3	1.75

※ 順位はお気に入りポイント順

アンデパンダンの部

ア 1. 神無七郎 作

アンチキルケ打歩ばか詰 7 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		龍							▲なし
						皇	皇		一
						角	皇		二
						香			三
							皇		四
									五
									六
									七
									八
									九

【ルール注意】

必ず最後は打歩で詰ますアンチキルケばか詰です

【詰手順】

61 角成 25 歩 22 龍 26 歩/23 歩

同龍/28 龍 15 玉 16 歩 迄 7 手詰

【解答成績】

自力正解者・・・7 名

【解説 (のようなもの)】

第 6 回の解答に記載されていたものを無理やり載せてしまいましたが、打歩でなければ短編の部でも充分トップを狙えるほどの好作でした。いや本当に無理なく構成されていますね。特に 2 五歩合から 2 六香/2 三歩のアンチキルケ流移動合とでもいえる方法で打つ歩を取る手順は感心しきりです。七郎さんの短編をもっと見たいと思っている解答者は多いですよ。よろしくお願いします。

【短評】

若林「今回の短 4 でもありましたが、合駒を後で再活

用するのは打ち歩に限らず良いですね。それにしてもこの手順を「面白くない」と言ってしまえる姿勢には頭が下がります。私は普通に短編の傑作だと思うのですが、氏は中編くらいの長さがあってこそ再活用が生きると考えているのかな、と推測。」

北村太路「七郎さんのコメント、大ヒントがあったのに凄く時間がかかりました。。。これは作品展に欲しくなるはずですね。」

☆打歩でなければ・・・でした

隅の老人 B「7手の中に妙手が一杯。26歩/23歩の合には、痺れました。」

☆本当に一杯ですね

吉川慎耶「ヒントがなければ解けなかったと思う。好作。」

伊達 悠「何はともあれ、うまい！」

もず「合駒の歩を復活させて取るのはやってみたかったのですが、成生を限定する関係上、五段目に打つことになるので構図が限定されるんですよ。この図は空王手を生かしてうまくできていると思います。」

## ア2. 太郎@神無一族 作

アンチキルケ打歩ばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	▲
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

【ルール注意】 かならず最後は打歩で詰ますアンチキルケばか詰です

【詰手順】

12歩 21玉 22歩 12玉/51玉

52歩 41玉 42歩 31玉 32歩 迄 9手詰

【解答成績】

自力正解者・・・9名

【解説 (のようなもの)】

角香4の詰将棋を思い出させる内容で、解答者のほとんどがその事に触れていますね (すごい) これもまた記憶に残る作品。作者は31玉型とどちらにするか悩まれたようですが、11玉型のほうが良いように私も思います。打歩であればこの詰上りはあるパターンですが、私はちっとも思いつきませんでした。一本取られましたという感じですね。

【短評】

若林「これは伝統ルールの角香4を思い出しますね。美しいです。」

北村太路「これで作品になっている！いきなり取らないところなんて作ったようないい感じ。いつもほとんどの駒を盤面に並べるの私なんかはよく反省した方がいかも。」

☆私も反省します

橋本孝治「例の香4枚の古作を思い出しました。将来に語り継いで、古典の仲間入りさせたい作。」

隅の老人 B「4手目に気づけば簡単。変化も無くて、楽しい裸玉です。」

☆楽しい裸玉というものは普通詰将棋ではありえないですからね

吉川慎耶「古図式の「攻方：13歩～93歩 持駒：角

香4 玉方：51玉」に似た味を持っている。」

伊達 悠「あの11手の作者不明の名作を彷彿とさせますね。」

小峰耕希「もし本局を作者当てクイズに使ったら、正解率トップは間違い無し。それ位良い意味でも悪い意味でも(って僕が書くのは失礼かな?)、作者の特徴が出ていると思う。でもこういう作品群、例えばFL常連の佐々木氏作にしてもそうなのですが、ある程度数を解いてしまうと、どう感想を書いても、以前にも同じ事を書いたような...という状態に陥ってしまいます。これって僕だけでしょうか？」

もず「歩が3段目に並んでいて持駒角香4の古典詰将棋を思い出しました。」

☆古図式を思い出した率5/8で6割強です

### ア3. 若林 作

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			香		香					▲なし
			香							一
					香					二
										三
										四
										五
						香	香	香	香	六
								と		七
									王	八
										九

【ルール注意】 かならず最後は打歩で詰ますアンチケルケバか詰です

### 【詰手順】

16と/17と 28玉 26と/27と 38玉

36と/37と 48玉 46と/47と

同玉/51玉 52歩 同と/53と 52歩

41玉 51歩成 31玉 41と

21玉 22歩 11玉 12歩 迄 19手詰

### 【解答成績】

自力正解者...9名

### 【解説 (のようなもの)】

確かにこの歩の取り方は面白い。はがす枚数が中途半端ではなく9枚にしたいというのも領けます。誰か挑戦してみてください。そして是非投稿をお願いします。歩を4枚取ったら収束へ...これはこれで楽しめました。

### 【短評】

若林「考えてみればすぐに51に戻そうとするから無理作りになるのであって、51を埋めるか戻ったら詰まないようにして作れば6筋に9枚並べられるかも...とか考えたりしましたが、そういう構成にするとと金が途中で暴れてしまう。なかなか難しい。」

☆どこで妥協するかが問題

北村太路「歩の連取りの楽しいくるくる。」

橋本孝治 「これは“打歩”の条件なしで仕上げるべき素材ですね。はがす歩の枚数も9枚にしたいところ。」

☆橋本さんなら出来そうな気がします

隅の老人B「歩の取り方が趣向的で気に入る。玉の故郷から、帰っておいでと声がする。」

☆♪帰ってこいよ♪は松村和子か... (分かる人は手を挙げて)

吉川慎耶「序が軽趣向、9連続は流石に無理？」

伊達 悠「取って取って、打って打って。そうしたら詰みになりました。」

小峰耕希「洗練されているという意味では、本家の□



と渡り合えそうな内容。」

もず「と金で削っていく手順がもう少し続いたら良かったのですが、収束が難しいそうですね。」

ア4. 若林 作

			銀	王	銀					一	▲
銀			金		金		銀	銀		二	歩
銀	銀				銀	銀	金			三	九
									銀	四	
	銀									五	
銀				金				銀		六	
										七	
										八	
										九	

【ルール注意】かならず最後は打歩で詰ますアンチキルケばか詰です

【詰手順】

- 52歩 同銀左/71銀 52歩 41玉
- 51歩成 31玉 32歩 同飛/82歩
- 32歩 同と/33と 32歩 同銀
- 41と 21玉 22歩 同と/23と
- 22歩 11玉 12歩 同成銀/31成銀
- 12歩 迄 21手詰

【解答成績】

自力正解者・・・6名

【解説 (のよなもの)】

邪魔な駒に退いていただく、ここ最近の長編で良く使われる手順です。序で歩を9連取してという創り方もあるかもしれませんが。やっぱり歩だと18枚に・・・となってしまうのでこれはこれで正解でしょう。3二地点の3連打が評判よかったですね。まあ作

者の言うように左に行くのが作意だと友達なくしてしまうので・・・(個人的には好きですが・・・)

【短評】

若林「これで左側で詰むのが作意だったら酷いペテンだよなあ。盤面の汚さは減価事項でしょう。初3はこれが元になっています。」

北村太路「最初4二金まで動かそうとして駒が足りなくなりました。」

橋本孝治「32地点での3連打が好感触。2連打はアンチキルケでは普通ですが、3連打以上は必ず工夫が要るからです。これを繰り返して趣向作にならないでしょうか？」

☆これまたアイデアですね。

隅の老人 B「"ODD MAN OUT"という映画がありました。邪魔な駒は帰って頂く、これですね。」

☆その映画は知りませんでした。

吉川慎耶「どっちに追うかでちょっと悩む。」

伊達 悠「しばらくの間、と金を5一に置いたままにするというのは盲点ですね。」

.....

今回のアンデパンダンも打歩特集になってしまいました。

アンデパンダンでは評価付けに向かない作品や既発表作の改作、2解問題などの作品も OK ですので皆さんよろしくお願ひします。

【総評】

若林「アンデパンダンも作品によっては ABC 評価があっても良いですね。ア1、ア2は短編として高く評価したいです。」

【全題正解者】

若林、北村太路、橋本孝治、隅の老人 B、吉川慎耶、伊達 悠

【解答成績】

解答者名	1	2	3	4
若林	○	○	○	○
北村太路	○	○	○	○
橋本孝治	○	○	○	○
隅の老人 B	○	○	○	○
吉川慎耶	○	○	○	○
伊達 悠	○	○	○	○
小峰耕希		○	○	
もず	○	○	○	
橋 圭吾		○	○	

△は FM 使用解答

解答者数 9名 うち全題自力正解者 6名

.....

【総評】

若林 (4/4 6 : 37)

「“難しいものはない”っていう割に短4、5に時間を使いました。使っただけのことはありました。今回も楽しませていただきました。」

☆すいません難しいのあるのに・・・勘違いしてました

北村太路 (4/5 23 : 49)

「今回は、短編2と4とか、中編&アンデパンダンの歩での攻めとか似た感じのものが多かったですね。今回は自分の気合が入っていたのか、全題解けてうれしいです。一番印象に残ったのは、アンデパンダン1かな。苦労したものはより良く見える、ということで。前回の総評で多すぎるという話がありましたが、確かに多いかなと思います。たくぼんさんが少ない、少ないといつも言うのでつい送ってしまうんですね。出題者はある程度量がないと見づえが気になるので仕方ないか。何よりももう少し自作の質が上がればいいのかもしれないですが、不可能な気がします。解答者の皆様にはご迷惑をおかけします。」

☆北村さんを初めとする毎回参加の方々には足を向けて寝られません。アンデパンダンの似たような作は若林さんにあわせて創作したというのが実際です。

橋本孝治 (4/8 19 : 27)

「毎々、原稿作成ご苦労さまです。最近誤植が多いのはやはり原稿作成が負担になっているせいではないでしょうか。PDF版かHTML版に一本化して、負担を軽減することも検討されてはどうでしょうか？」

☆実際に解かれる方はPDF版が便利、眺めるだけの方

は HTML 版が便利。それが分かるだけに難しい。とりあえずは誤植を減らすよう余裕をもった原稿作成をしようと思います。

**隅の老人 B (4/12 11:40)**

「今回はアンチキルケだけで、頭が混乱せずすみしました。15日には次の出題があるとのこと。それまでには全題解図と頑張りましたが、それでも全題解図には、10日間以上もかかり、楽しい(苦しい)?多くの時間を持てました。作者の皆様とたくぼんさんに感謝です。」

☆PWC 解答もよろしくお祈いします。

**吉川慎耶 (4/14 8:04)**

「久しぶりに全解できました。(^^) v長編がないのは少し物足りませんが PWC が 10 作付いているので文句は言えません。」

☆吉川さんも是非長編にチャレンジしてみてください

**伊達 悠 (4/22 19:48)**

「アンデバンダンの打歩ばか詰の創設者(勝手にすいません)の僕としては、どんどん作品のレベルが上がってきているのはうれしいことです。これからも、アンチキルケ打ち歩ばか詰をよろしくお祈いします。」

☆普通アンチキルケばか詰もよろしくお祈いします

**小峰耕希 (4/25 9:17)**

「★今月は長編がなくてちょっと寂しかったです(だったら自分で作れって言われそうですが)。来月は長編もあるようですので楽しみにしています。★それと関係があるような気もしますが、残念な事に今回は解図欲が湧く前に締め切りが来てしまった感じで、余り解答出せませんでした。★でも今月はその分というか、O FM109 回出題は前回に続いて翌日解答、バラでは初

めて大学の作品が解けたし、某作品展では類作指摘者になりそう、FLも既に6題解けているので、全体的には僕としてはまあまあ解図成績かな。★そして今月も新作は出来ず。創作は相変わらず不調です。★それを打開すべく過去に発表された作品(主に神無一族の中・長編協力詰)を幾つか解いています。即効性は無いでしょうが、かなり刺激を受けます。最後に、今月も余計な事を書いて長文になってしまいました、すみません。」

☆解けたものだけでも感謝です。

**もず (4/25 22:26)**

「毎回締め切り間際になってしまい申し訳ありません。」

☆私も他ではいつもそうですので・・・

**橘 圭吾 (4/27 12:52)**

「毎度の事になりつつありますが、今回も時間の都合で短評を割愛させてください。いつかは必ず書きますのでしばらくは勘弁を。」

☆よろしくお祈いします。

たくぼん